

下津蔵出しみかんシステム



日本農業遺産
下津蔵出しみかんシステム
Shimotsu

日本農業遺産
平成31年2月認定

和歌山県海南市下津地域



和歌山県海南市下津地域は日本のみかん発祥の地と云われています。地域はほとんどが傾斜地であることから、独自の石積み技術により段々畑を築き、みかんを栽培してきました。また、みかん園内に土壁の蔵をつくり、自然の力で甘味を増す「蔵出し技術」を生み出しました。



伝統的石積み技術



約400年前から傾斜地の崩落防止と耕地確保のため、垂直に近い石積みにより段々畑を構築してきました。

みかん発祥の地



約1900年前に日本のみかんの祖となる「橘」が中国から持ち帰られ植えられました。地域内にある橘本神社では、全国で唯一みかんの神様を祀っています。

下津蔵出しみかんシステム



独自の蔵出し技術



収穫したみかんを園内に作った木造・土壁の蔵で貯蔵し、1か月以上熟成させることで余分な水分と酸味が抜け、甘くまろやかな味わいになります。

日本農業遺産認定による効果

農林水産業

農業遺産認定を活用した販売促進活動によるブランド力の向上

- 出荷時期を迎えた「しもつみかん(貯蔵みかん)」の更なるブランド化と消費拡大を図るため、販路拡大に向けた消費地及び消費者等への周知・PR活動を1月中旬から2月中旬に実施

気候変動への対処

- 温暖化が発生要因の一つであり、貯蔵・輸送中に腐敗しやすい等の問題がある「浮皮」の発生しにくい温州みかん系統の探索

- 10系統まで選抜済み(H30)
→選抜完了(R1)



▲みかんキャンペーン結団式

次世代への継承

熟練者を講師とした技術研修会の開催

- みかんの生産性向上に不可欠な石垣積みの技術を受け継ぐため、みかん生産者を対象に講習会を実施

- 参加人数: 一名(H30) → 約30名(R5)

市内小学校への出前講座

- みかん・お菓子に関する伝統文化の理解を深め、地元への誇りと愛着を育むため、市内の小学校において出前講座を開催

- 開催実績:
- (H30) → 市内全12小学校で実施(R5)



▲技術研修会



▲小学校での出前講座

住民の理解醸成

「下津蔵出しみかんシステム」ホームページ新設

- 市ホームページ内の複数のページにわたって掲載していた情報を集約し、わかりやすく魅力が伝わるホームページを新たに作成(R4.1公開)



▲本市ホームページ

PR看板の作製・設置

- 電車を利用する方に広く周知するため、3種類の看板をJR海南駅(構内)とJR加茂郷駅前に設置(R2)



▲JR海南駅への看板設置

- 日本農業遺産に認定された「下津蔵出しみかんシステム」
- 日本遺産に認定された「絶景の宝庫 和歌の浦」
- みかんお菓子の発祥の地

生物多様性の推進

雑木林の役割の周知による保全活動の促進

多くの人々が雑木林を評価し維持活動に繋げていくため雑木林の役割について周知。また、協議会が中心となって、地元住民を対象とした雑木林の生物多様性の現地学習会を開催し啓発

- 市HP、広報誌等における雑木林の役割の周知
- 「海南市語り部の会」における語り部育成講習の実施
- 雑木林学習会の実施

地域一体となって実施するため池の保全活動

- 多面的機能支払交付金の活用等により、ため池の保全活動を継続する。ため池が育む生物多様性について、より住民に広く知ってもらうため、協議会において、ため池を活用した環境学習の取組を実施



▲ため池の生物調査

- 開催実績: 13回(H30) → 13回(R5)